

各位

Arcserve Japan

『Arcserve® Cyber Resilient Storage (CRS) 1.6』リリース および 『Arcserve® CRS Appliance 1000シリーズ』 オプション追加のご案内

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より弊社製品に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、ランサムウェアをはじめとするサイバー脅威は巧妙化を極めており、バックアップデータの「不変性（イミュータブル）」を確保するストレージの導入は、企業の事業継続計画（BCP）において不可欠な戦略要素となっています。

このたび、Arcserve Japan は、セキュリティ要件が厳しい環境への適応力を高めた **Arcserve® CRS 1.6** をリリースいたします。併せて、導入の迅速化と運用負荷の低減を両立する **Arcserve CRS Appliance 1000 シリーズ** においても、お客様のニーズに柔軟に対応し、パートナー様の提案の幅を広げるための「オプション製品」を拡充いたしました。

詳細については、各別紙を参照ください。

- **別紙 1 : Arcserve CRS 1.6 による機能強化（セキュリティ要件への適応力向上）**

外部ネットワークから物理的に隔離された「閉域網（ダーク サイト）」での運用をサポートします。ストレージの監視機能も追加され、システム全体の堅牢性が向上しています。

- **別紙 2: Arcserve CRS Appliance 1000 シリーズ オプション追加**

ミッション クリティカルな環境を支える「24 時間 365 日ハードウェア サポート」や、厳格な機密保持に応える「HDD/SSD 返却不要オプション」などを正式なラインアップに加え、幅広いニーズへの適応力を強化しました。

オンライン説明会のご案内

新機能と提案のベストプラクティスを解説するセミナーを開催いたします。

- 日時: 2026 年 4 月 2 日 (木) 14:00～
- 詳細・登録は [こちら](#)

本リリースの内容を、より詳細にお伝えします。

進化した Arcserve CRS シリーズは、お客様をサイバー攻撃の脅威から守り抜く「強固な防壁」となります。本製品を活用した、より付加価値の高い提案活動を何卒よろしくお願い申し上げます。

本製品に関するご不明点は、弊社営業担当までお問い合わせください。今後とも Arcserve 製品をよろしくお願い申し上げます。

以上

別紙 1

1. Arcserve CRS 1.6 新機能の詳細

主要な改善点として以下の3つの新機能が追加されました。これにより、物理階層の監視から、特殊なネットワーク環境での運用まで、幅広いニーズに対応可能となります。

① 閉域網（ダーク サイト）のサポート

セキュリティ要件が厳しく、外部ネットワークから完全に遮断された「エア ギャップ（物理隔離）」環境での運用をサポートします。そのために、以下の3つの機能が追加されます。

- ◆ **オフライン アップデート:** Arcserve CRS ソフトウェアのアップデートを USB メディアや DVD 等を使って、オフラインで行えるようになります。
- ◆ **ローカル NTP サーバのサポート:** Arcserve CRS はその内部動作のために NTS をサポートする NTP サーバとの時刻同期が必要です。Arcserve CRS 1.6 よりローカル NTP サーバがサポートされるため、外部の NTP サーバとの通信ができない状態でも、データの不変性（イミュータブル性）、保持ポリシー、監査機能が維持されます。
- ◆ **サポート バンドルのオフライン エクスポート:** ログ等の情報（サポート バンドル）を USB メディアなどにオフラインでエクスポートできるようになります。これにより、Arcserve CRS がインターネットに接続していなくとも、Arcserve テクニカル サポートへサポート バンドルの提供が可能になります。

※ なお、Arcserve テクニカル サポートによるリモートでの支援（リモート アクセス）を行うには、従来通りインターネット接続が必要です。

② ネットワーク プロファイルの管理 (Network Profile Management)

展開作業を簡素化し、一貫性と安全性の高いネットワーク動作を保証するためのプロファイルが利用できます。

- ◆ **動的なネットワーク プロファイル切り替え:** 管理者はデータの不変状態を変更することなく、ネットワーク プロファイルの事前定義、割り当て、切り替えが可能です。
- ◆ **セキュリティの維持:** 環境全体で改ざん防止機能と監査可能なネットワーク構成を維持しながら、制御された接続変更を実現します。

③ SMART ディスク アラート (SMART Disk Alerts)

物理ストレージドライブの健全性と信頼性を継続的に可視化するため、CRS RAID 利用環境において、SMART (Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology) テレメトリを活用した監視機能が追加されました。

- ◆ **長期的な安定性:** Arcserve CRS の基盤となる不変で耐久性の高いストレージを維持するために不可欠な、ディスクの物理的な予兆検知を可能にします。
- ◆ **信頼性の検証:** 物理ディスクの状態を詳細に把握することで、バックアップデータの可視性と保護レベルを向上させます。

◇ [Arcserve CRS 1.6 リリース ノート](#) (2026 年 4 月 1 日公開予定)

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/10.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/ReIN_CRS/default.htm#new_features.htm?ToCPath=%25E6%25A9%259F%25E8%2583%25BD%257C____1

◇ Arcserve CRS 1.6 ダウンロード (2026 年 4 月 1 日公開予定)

4 月 1 日(水)より[製品ダウンロード ページ](#)から入手いただけます。

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-Cyber-Resilient-Storage-Download-Link?language=ja>

◇ 各ライセンス製品の価格、SKU、JAN コードについては変更ありません。

◇ 本リリースに伴いサポート終了になる製品はありません。

2. 受注・出荷スケジュール

今回のバージョン 1.6 リリースおよびメディアキットのスケジュールは以下の通りです。

受注開始日: 2026 年 4 月 24 日 (金)

出荷開始日: 2026 年 5 月 7 日 (木) |

3. Arcserve CRS シリーズの製品コンセプト

Arcserve CRS シリーズは、統合データ保護ソリューション「Arcserve UDP」のデータをサイバー攻撃から守るための専用ストレージです。

- ◆ **イミュータブル (不変) スナップショット:** 指定したスケジュールに基づき、変更不可能なスナップショットを自動取得します。万が一、管理者権限が乗っ取られバックアップデータが破壊された場合でも、攻撃前の状態から確実に復旧できます。
- ◆ **統合管理の利便性:** 使い慣れた「Arcserve UDP コンソール」から透過的に管理可能です。データストアの指定や設定が容易で、既存環境へスムーズに導入いただけます。
- ◆ **ストレージの効率利用:** 重複排除、圧縮、継続的な増分バックアップ機能を継承しており、コストを抑えながら長期間のバックアップ世代保持を支援します。

提供形態のラインアップ

お客様の環境や要件に応じて、以下の形態から選択いただけます。

1. **CRS (オンプレミス版):** サーバハードウェアにインストールして使用するソフトウェア形式
2. **CRS Appliance:** ハードウェアとソフトウェアが一体化したアプライアンス形式。導入作業を大幅に簡略化し、Arcserve による一括サポートを提供
3. **クラウド CRS:** インターネット経由で Arcserve のクラウドストレージにデータを保存するサービス形式

4. ご購入・構成に関する留意事項

- ◆ **対応バージョン:** Arcserve CRS 1.6 を利用するには、連携する Arcserve UDP の復旧ポイントサーバ (RPS) が **バージョン 10.3 以上**である必要があります。
- ◆ **オーダーフォーム:** 発注に際しては「Arcserve Cyber Resilient (CRS) シリーズ Registration Form (登録用紙)」の提出が必要となります。最新版を[弊社サイト\(購入方法と製品価格表\)](#)よりダウンロードしてください。
- ◆ **詳細情報:** 各種ハードウェア仕様や最新の動作要件については、[弊社カタログセンター](#)に掲載の製品カタログ、またはリリースノートをご確認ください。

別紙 2

Arcserve® CRS Appliance 1000 シリーズ オプション追加

2026 年 3 月 2 日に通知いたしました『Arcserve® CRS Appliance 1000 シリーズ』の価格表にサポートオプションが追加されました。

受注・出荷スケジュール

Arcserve® CRS Appliance 1000 シリーズ の受注出荷スケジュールと同様以下の通りです。

受注開始日：2026 年 4 月 1 日（水）

出荷開始日：2026 年 5 月 7 日（木）

本体製品価格表

製品名称	SKU JANcode	ライセンス 有効期間	価格 (税抜)	総額 (税込価格)
本体製品				
Arcserve CRS 1012 Appliance with 5 Years Subscription (12TB Model)	NACR1012FLJ12TS60C 4949013979667	5 年	¥5,300,000	¥5,830,000
Arcserve CRS 1024 Appliance with 5 Years Subscription (24TB Model)	NACR1024FLJ24TS60C 4949013979650	5 年	¥7,600,000	¥8,360,000
Arcserve CRS 1040 Appliance with 5 Years Subscription (40TB Model)	NACR1040FLJ40TS60C 4949013979643	5 年	¥12,400,000	¥13,640,000
Arcserve CRS 1080 Appliance with 5 Years Subscription (80TB Model)	NACR1080FLJ80TS60C 4949013979636	5 年	¥19,900,000	¥21,890,000

追加オプション製品価格表

製品名称	SKU	有効期間	価格 (税抜)	総額 (税込価格)
サポート オプション				
Arcserve CRS Appliance - 24 時間 365 日 ハードウェア サポート オプション (5 年間・全モデル)	MCRS1000APJ24HE60C	5 年	¥1,800,000	¥1,980,000
Arcserve CRS Appliance - 1 ヶ月サブスクリプション (全モデル)	MCRS1000MAJVSPS01C	1 ヶ月	¥510,000	¥561,000
Arcserve CRS 1012 - HDD/SSD 返却不要オプション (5 年間)	MCRS1012APJNR1E60C	5 年	¥157,000	¥172,700
Arcserve CRS 1024 - HDD/SSD 返却不要オプション (5 年間)	MCRS1024APJNR2E60C	5 年	¥187,000	¥205,700
Arcserve CRS 1040 - HDD/SSD 返却不要オプション (5 年間)	MCRS1040APJNR3E60C	5 年	¥295,000	¥324,500
Arcserve CRS 1080 - HDD/SSD 返却不要オプション (5 年間)	MCRS1080APJNR4E60C	5 年	¥435,000	¥478,500

◆ Arcserve CRS Appliance - 24 時間 365 日 ハードウェア サポート オプション (5 年間・全

モデル)

ハードウェアのサポートを 24/365 受付/対応可能にするためのオプションです。例えば修理作業を業務終了後に行ってほしい、というご要望に応えられます。

- ◆ Arcserve CRS Appliance - 1 か月サブスクリプション (全モデル)
サブスクリプション期間を最初の 1 か月追加するオプションです。構築期間も込みで 5 年 1 か月のサブスクリプション期間が欲しい、という場面で購入ください。
- ◆ HDD/SSD 返却不要オプション (5 年間)
Arcserve CRS Appliance の HDD/SSD を故障交換する場合、故障品は Arcserve の資産として保守員が持ち帰ります。HDD/SSD に機密情報が入っているので故障品は置いておいて欲しい、という要望がある場合は、Arcserve CRS Appliance 購入時にこのオプションも購入ください。

ご購入・お手続きについて

- ◆ Registration Form(登録用紙)について
本製品のご発注に際しましては、「Arcserve Appliance Registration Form (登録用紙)」のご提出が必要となります。最新のフォームは[弊社サイト](#)よりダウンロードしてご利用ください。
- ◆ 構成・動作要件
Arcserve CRS Appliance 1000 シリーズは、Arcserve UDP 10.3 以降の復旧ポイントサーバ (RPS) と連携して動作します。詳細なハードウェア仕様や最新の動作要件については、[弊社カタログセンター](#)に掲載予定の製品カタログをご参照ください。